

支援機器等教材活用実践事例フォーマット

実践年度・タイトル		令和(元)年度
		通常の学級におけるマルチメディアDAISY教材の活用
授業について	教科名等	<input checked="" type="checkbox"/> 国語 <input checked="" type="checkbox"/> 社会 <input type="checkbox"/> 算数/数学 <input checked="" type="checkbox"/> 理科 <input type="checkbox"/> 生活 <input type="checkbox"/> 音楽 <input type="checkbox"/> 図画工作/美術 <input type="checkbox"/> 家庭/技術・家庭 <input type="checkbox"/> 体育/保健体育 <input type="checkbox"/> 特別の教科 道徳 <input type="checkbox"/> 外国語/外国語活動 <input type="checkbox"/> 総合的な学習の時間 <input type="checkbox"/> 特別活動 <input type="checkbox"/> 自立活動 <input type="checkbox"/> 各教科等を合わせた指導 <input type="checkbox"/> その他の教科 <input type="checkbox"/> その他()
	単元・題材名	
	授業の目標	国語科: マルチメディアDAISY教材で読みを確認したら通常の学級で学ぶ。 社会科: 分からない言葉にルビを振り、読み方を習得する。 理科: 読み方の分からない文字があれば確認する。
	学力の3要素	<input checked="" type="checkbox"/> 「知識及び技能」 <input type="checkbox"/> 「思考力・判断力・表現力等」 <input type="checkbox"/> 「主体的に学習に取り組む態度」
学習集団と子供の実態	学校・学部・学年・人数	<input checked="" type="checkbox"/> 通常の学級 <input type="checkbox"/> 通級による指導 <input type="checkbox"/> 特別支援学級 <input type="checkbox"/> 特別支援学校 <input type="checkbox"/> 就学前 <input checked="" type="checkbox"/> 小学生 <input type="checkbox"/> 中学生 <input type="checkbox"/> 高校生以降 <input type="checkbox"/> 特定されない (5)年 (1)人
	対象の障害	<input type="checkbox"/> 視覚障害 <input type="checkbox"/> 聴覚障害 <input type="checkbox"/> 知的障害 <input type="checkbox"/> 肢体不自由 <input type="checkbox"/> 病弱・身体虚弱 <input type="checkbox"/> 言語障害 <input type="checkbox"/> 自閉症 <input type="checkbox"/> 情緒障害 <input checked="" type="checkbox"/> LD(学習障害) <input type="checkbox"/> ADHD(注意欠陥/多動性障害) <input type="checkbox"/> その他
	子供の困難さ	<input type="checkbox"/> 見ること <input type="checkbox"/> 聞くこと <input type="checkbox"/> 話すこと <input checked="" type="checkbox"/> 読むこと <input checked="" type="checkbox"/> 書くこと <input type="checkbox"/> 動くこと <input type="checkbox"/> コミュニケーションをすること <input type="checkbox"/> 気持ちを表現すること <input type="checkbox"/> 落ち着くこと・集中すること <input type="checkbox"/> 概念(時間、大きさ等)を理解すること <input type="checkbox"/> 学習(計算、推論等)すること <input type="checkbox"/> その他 今まで、徹底的にマルチメディアDAISY教材を活用してきたことで音読は大変スムーズになった。少し速すぎるため、間違えて読み直すことが多い。内容理解もかなりできるようになり、まとめたり発表したりする練習を重ねた。
支援機器等教材の活用について	活用の意図	Aコミュニケーション支援(<input type="checkbox"/> A1意思伝達支援 <input type="checkbox"/> A2遠隔コミュニケーション支援) B活動支援(<input type="checkbox"/> B1情報入手支援 <input type="checkbox"/> B2機器操作支援 <input type="checkbox"/> B3時間支援) C学習支援(<input checked="" type="checkbox"/> C1教科学習支援 <input type="checkbox"/> C2認知発達支援 <input type="checkbox"/> C3社会生活支援) D実態把握支援(<input type="checkbox"/> D1実態把握支援)
	使用した支援機器等教材の名称と画像	デジタル教材(マルチメディアDAISY教材)
授業展開	授業展開・支援の手立て	国語: 単元初めにマルチメディアDAISY教材を活用後、通常の学級で学んだ。通常の学級でもマルチメディアDAISY教材を使える環境設定をしていたため、単元初めは活用していた。後半は自分でルビを振るだけで読みを習得でき、通常の学級のみで学習するようになった。 社会科: 通常の学級でもマルチメディアDAISY教材を活用できる環境設定をしていたことから、教科書を読む場面では活用し、本人はルビを振ったり読み方を覚えたりしていた。 理科: 通常の学級においてもマルチメディアDAISY教材を活用できる環境であった。あまり活用する場面はなかったが、必要なときに利用した。
効果・評価	子供の様子や変容および授業の評価	国語: 意欲的で、自己認識ができていたため自分の弱さに合わせて学習することができた。 社会科: 読み方を知ることによって学習に積極的に参加した。分からない時には担任に助言してもらいながら、みんなと同じ活動ができた。 理科: 通常の学級のみんなと同じように活動ができた。実験や話し合い活動にも積極的に参加した。